

平成27年度学校保健統計調査
福井県の概要
(速報)

平成28年1月

福井県 総合政策部 政策統計・情報課

目 次

調査の概要	2
調査結果の概要	
1 発育状態調査	
(1)身長・体重・座高の状況	3
ア 身長	4
イ 体重	4
ウ 座高	5
(2)身長・体重・座高の推移	6
ア 身長	6
イ 体重	9
ウ 座高	12
(3)全国平均値との比較	15
ア 身長	15
イ 体重	17
ウ 座高	19
2 健康状態調査	
(1)疾病・異常等の状況	21
(2)主な疾病・異常等の推移	22
ア 裸眼視力 1.0 未満の者	22
イ 鼻・副鼻腔疾患の者	23
ウ むし歯(う歯)の者	24
エ アトピー性皮膚炎の者	25
オ ぜん息の者	26
3 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率	
(1)肥満傾向児	27
(2)痩身傾向児	29

留意事項

- この報告書は、平成27年度学校保健統計調査(文部科学省所管)について、福井県分の概要をとりまとめたものである。
- この報告書は、福井県ホームページの統計情報(<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/toukei/>)にて掲載している。
- この報告書の数値は速報値であり、後日、文部科学省が公表する数値をもって確定値とする。
文部科学省が公表する報告書については、文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/hoken/1268826.htm)で閲覧できる。

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童、生徒および幼児（以下「児童等」という。）の発育状態および健康状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

県内の小学校、中学校、高等学校および幼稚園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）に在籍する満5歳から17歳（平成27年4月1日現在）までの児童等の中から次表に示す人数を抽出し、調査の対象としている。

調査実施校数および調査対象者数(福井県)

区分	平成27年5月1日現在(※1)		調査実施校		調査対象者数					
	学校数	在籍者数	学校数	割合	発育状態			健康状態		
					調査実施1校 当たりの対象人数	実調査 人数(※4)	割合	対象人数	実調査人数	割合
a	b	c	d=c/a	e	f	g=f/b	h	i	j=i/b	
計	校	人	校	%		人	%	人	人	%
幼稚園(※2)	136	2,346	29	21.3	男女別各 22人	714	30.4		872	37.2
小学校	202	43,298	57	28.2	年齢別男女各 8人	5,329	12.3	該調査 当年実施 の校 児に在籍 する 等 全 員	22,212	51.3
中学校	84	23,136	37	44.0	年齢別男女各 20人	4,136	17.9		16,387	70.8
高等学校(※3)	38	23,026	24	63.2	年齢別男女各 15人	2,051	8.9		17,880	77.7

※1 平成27年度学校基本調査による。学校数は分校も一校と計上している。

2 幼稚園の在籍者数は「幼稚園」と「幼保連携型こども園」の5歳のみを計上している。

3 高等学校の学校数および在籍者には「通信制課程」を含まない。また、1～3学年のみの生徒数を計上している。

4 発育状態調査の実調査人数は、身長調査に係る実調査人数を計上している。

3 調査事項

- ① 児童等の発育状態 身長、体重、座高
- ② 児童等の健康状態 栄養状態、脊柱・胸郭の疾病・異常の有無、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無、心臓の疾病・異常の有無、尿、寄生虫卵の有無、その他の疾病・異常の有無、結核に関する検診の結果

4 調査期日

平成27年4月1日から6月30日までの間に実施した。

統計表中の符号について

- 「▲」 → 計数が負数の場合
- 「-」 → 該当者がいない場合
- 「0.0」 → 計数が単位未満の場合
- 「…」 → 調査対象とならなかった場合
- 「X」 → 標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合

5 標本抽出の方法

- (1) 児童生徒数および学校数に応じ調査実施校数を学校種別に決定する。
- (2) 次の①から③の方法で調査実施校を決定する。
 - ① 学校種別に、児童・生徒数に応じ、学校を層化する。
 - ② 調査実施校数を層数で割り、1層当たりの割当学校数を求める。
 - ③ 各層内で、調査実施校を単純無作為抽出する。

調査結果の概要

1 発育状態調査

(1) 身長・体重・座高の状況

平成 27 年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の身長、体重および座高の福井県平均値を年齢別にみると表 1 のとおりである。

また、各年齢の過去 1 年間の年間発育量は表 2 のとおりである。

表 1 年齢別 身長・体重・座高の平均値

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)			座 高 (cm)		
		男子	女子	男女差	男子	女子	男女差	男子	女子	男女差
		A	B	A-B	C	D	C-D	E	F	E-F
幼稚園	5歳	109.7	109.7	0.0	18.6	18.6	0.0	61.5	61.6	▲ 0.1
	6歳	116.5	115.9	0.6	21.3	20.9	0.4	65.0	64.8	0.2
	7歳	122.3	121.6	0.7	24.0	23.5	0.5	67.7	67.5	0.2
小学校	8歳	128.5	127.7	0.8	27.0	26.5	0.5	70.6	70.2	0.4
	9歳	133.8	134.0	▲ 0.2	30.1	29.7	0.4	72.8	73.0	▲ 0.2
	10歳	138.7	140.3	▲ 1.6	33.2	33.8	▲ 0.6	75.0	75.8	▲ 0.8
	11歳	145.5	146.8	▲ 1.3	38.2	38.2	0.0	78.1	79.3	▲ 1.2
中学校	12歳	153.1	151.7	1.4	43.8	42.7	1.1	81.9	82.1	▲ 0.2
	13歳	159.7	155.2	4.5	48.6	47.1	1.5	85.1	84.2	0.9
	14歳	<u>166.6</u>	156.8	9.8	55.8	50.1	5.7	<u>89.2</u>	85.2	4.0
高等学校	15歳	169.2	157.9	11.3	59.1	51.6	7.5	<u>91.0</u>	86.0	5.0
	16歳	170.9	157.6	13.3	60.6	52.4	8.2	<u>92.1</u>	85.9	6.2
	17歳	170.9	157.9	13.0	62.2	52.9	9.3	92.3	86.1	6.2

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来最高の値であることを示す。

表 2 年齢別 過去 1 年間の発育量

		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
身長 (cm)	男子	6.5	5.8	5.7	5.3	4.4	5.6	8.2	7.5	6.3	3.4	1.9	0.3
	女子	6.2	5.9	5.8	6.8	7.1	6.5	4.7	2.8	1.8	1.1	0.3	0.3
体重 (kg)	男子	2.6	2.8	2.9	2.9	2.8	4.0	6.2	5.0	6.7	4.8	1.2	0.2
	女子	2.7	2.6	3.0	3.7	4.4	4.4	3.9	3.3	2.5	1.5	0.9	0.0
座高 (cm)	男子	3.3	2.8	2.7	2.2	2.0	2.6	4.1	3.9	3.8	2.2	1.1	0.4
	女子	3.3	2.7	2.7	3.1	3.3	3.5	2.5	1.5	1.0	0.8	0.3	0.1

※この数値はH27年度の数値からH26年度の1歳下の値を差し引いて算出したものである。

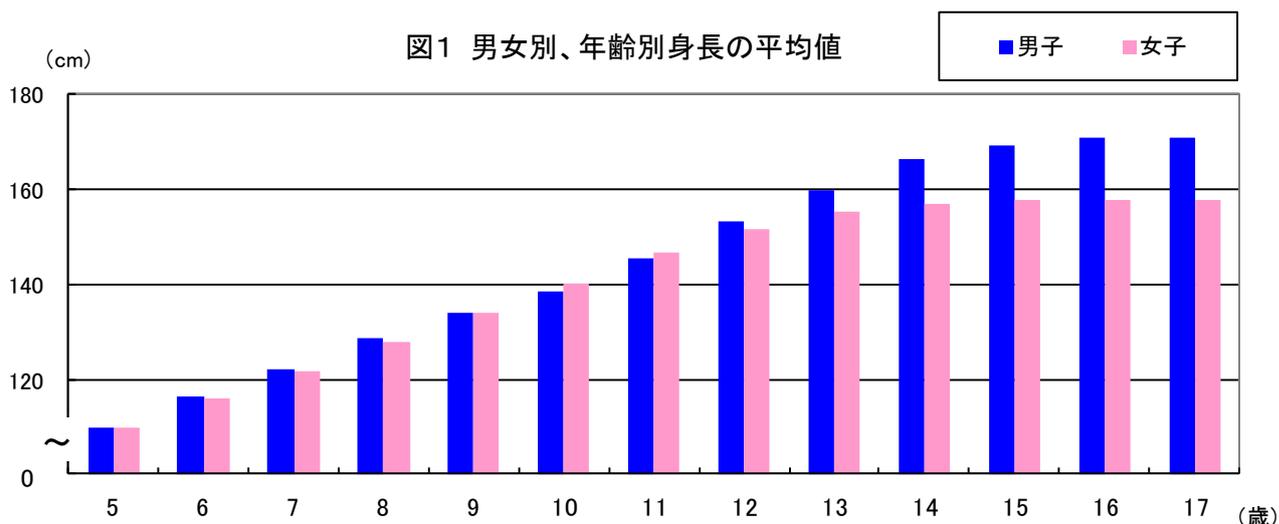
例) 17歳の発育量(身長) = H27年度の17歳(身長) - H26年度の16歳(身長)

ア 身長

男子の身長は、5歳（幼稚園）で109.7cm、11歳（小学校6年）で145.5cm、14歳（中学校3年）で166.6cm、17歳（高等学校3年）で170.9cmとなっており、14歳の166.6cmは昭和23年の調査実施以来最高の値となっている。年間の発育量は、12歳の8.2cmを最高に13歳、6歳および14歳が大きくなっている。

女子の身長は、5歳で109.7cm、11歳で146.8cm、14歳で156.8cm、17歳で157.9cmとなっている。年間の発育量は、10歳の7.1cmを最高に9歳および11歳が大きくなっている。

男女別で比較すると、9歳、10歳および11歳で女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。

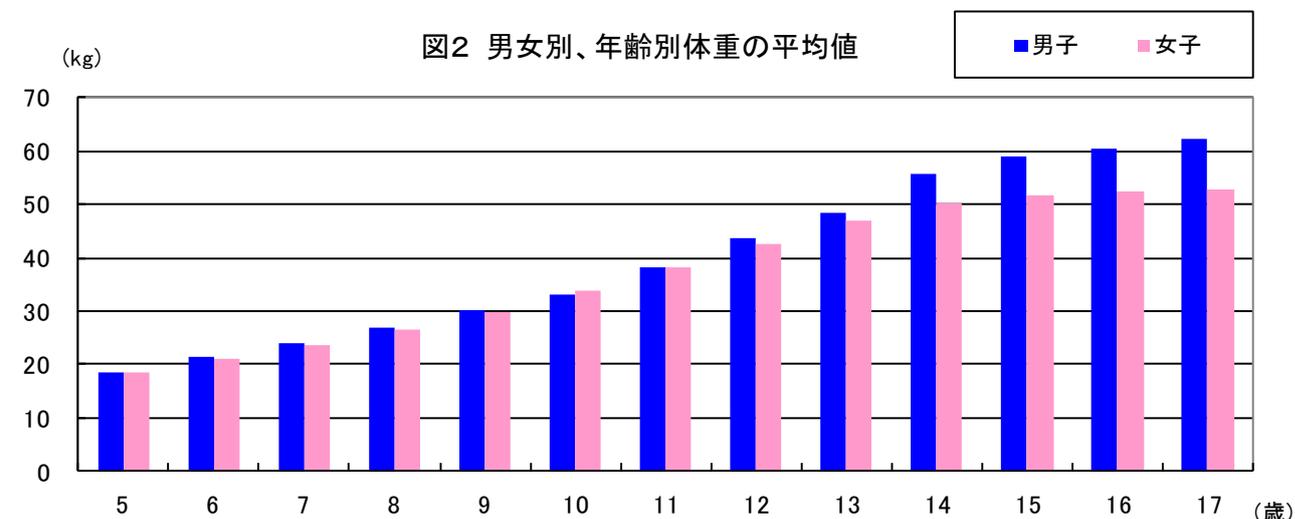


イ 体重

男子の体重は、5歳（幼稚園）で18.6kg、11歳（小学校6年）で38.2kg、14歳（中学校3年）で55.8kg、17歳（高等学校3年）で62.2kgとなっている。年間の発育量は、14歳の6.7kgを最高に12歳から15歳にかけて大きくなっている。

女子の体重は、5歳で18.6kg、11歳で38.2kg、14歳で50.1kg、17歳で52.9kgとなっている。年間の発育量は、10歳および11歳の4.4kgを最高に9歳から12歳にかけて大きくなっている。

男女別で比較すると、10歳において女子が男子を上回っている。それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。

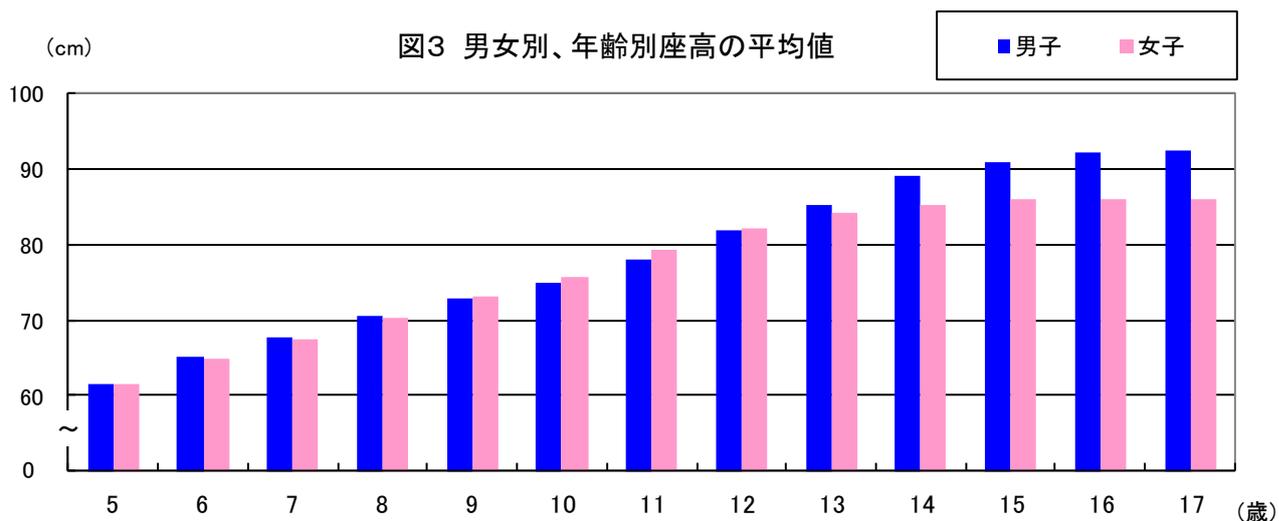


ウ 座 高

男子の座高は、5歳（幼稚園）で61.5 cm、11歳（小学校6年）で78.1 cm、14歳（中学校3年）で89.2 cm、17歳（高等学校3年）で92.3 cmとなっており、14歳の89.2 cm、15歳の91.0 cmおよび16歳の92.1 cmは昭和23年の調査実施以来最高の値となっている。年間の発育量は、12歳の4.1 cmが最高となっている。

女子の座高は、5歳で61.6 cm、11歳で79.3 cm、14歳で85.2 cm、17歳で86.1 cmとなっている。年間の発育量は、11歳の3.5 cmが最高となっている。

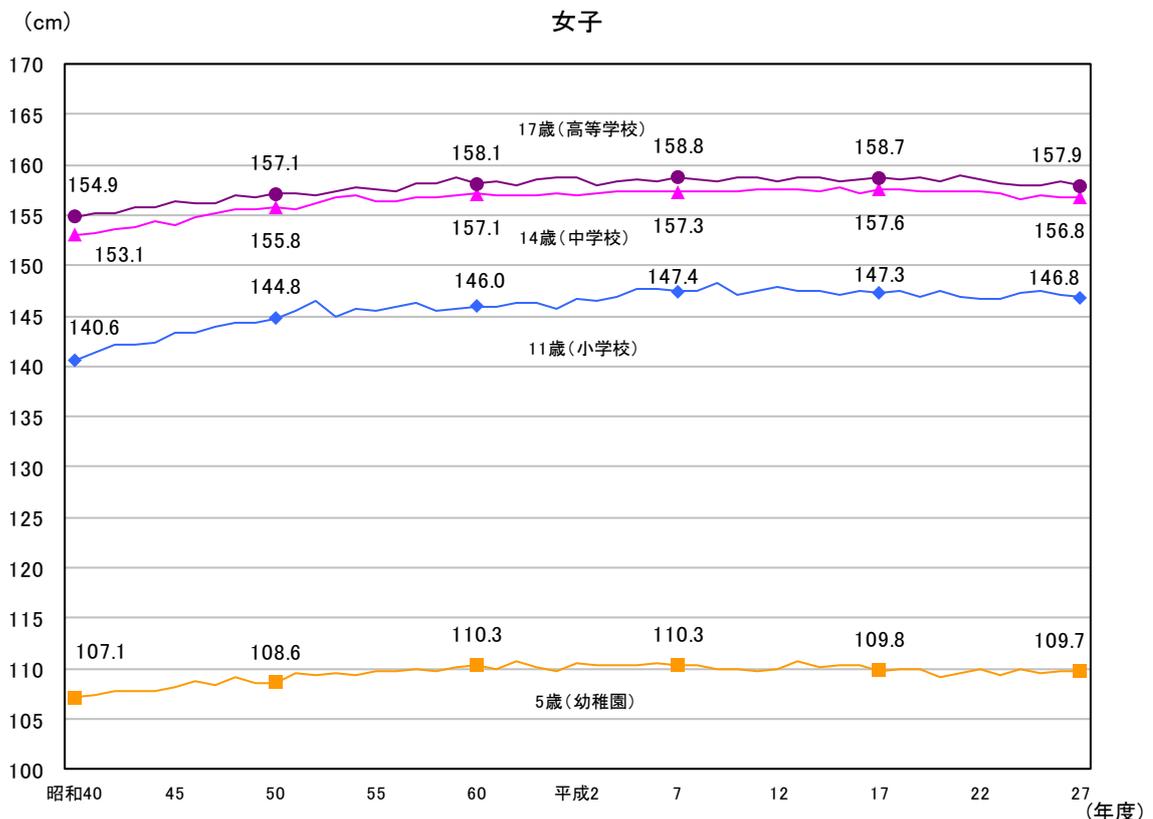
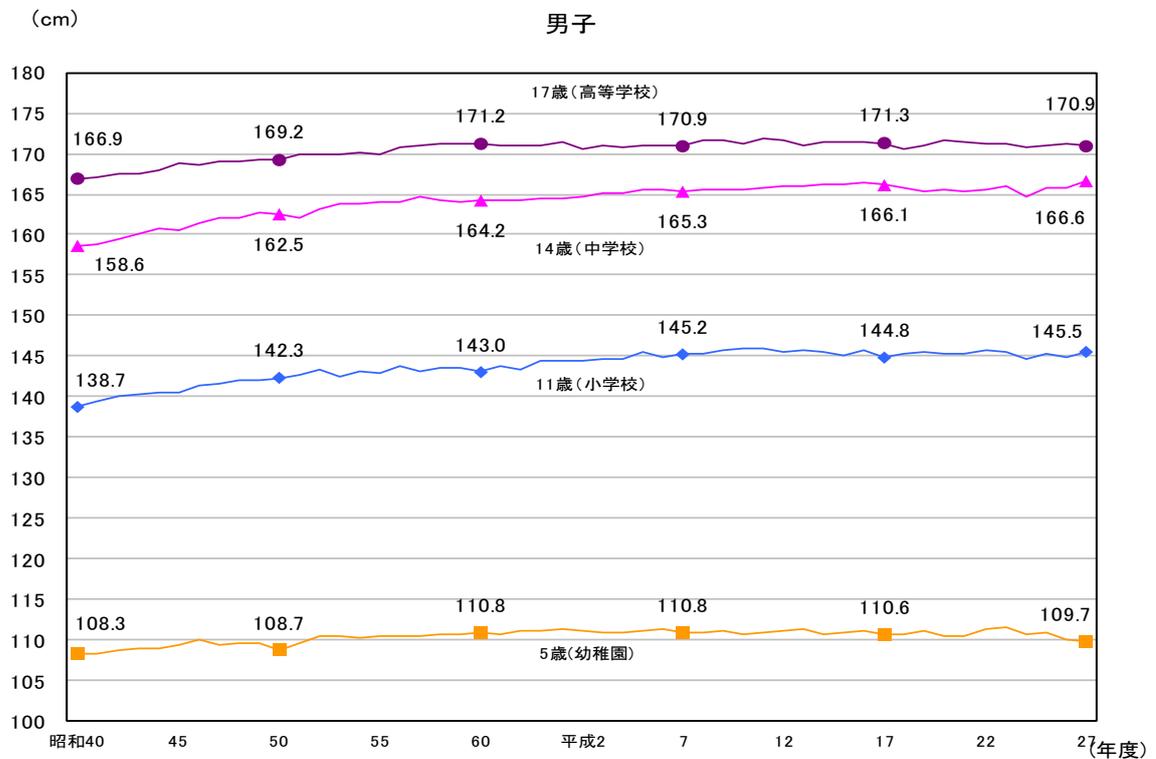
男女別で比較すると、9歳から12歳で女子が男子を上回っており、それ以外の年齢では、男子が女子を上回っている。



各学校種別の最高学年の身長について、この50年間の推移をみると、男女とも全学年で伸びている。最近10年間では、男子は年齢によって傾向が異なるが、女子は減少傾向にある。

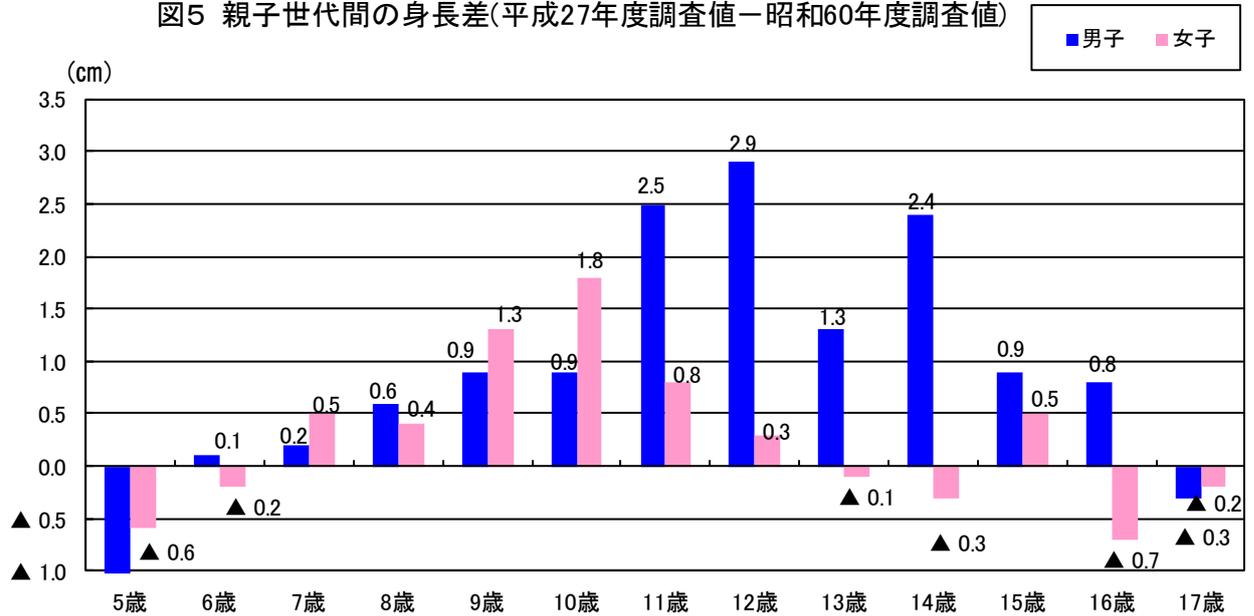
平成27年度と昭和40年度を比較すると、男子では5歳（幼稚園）で1.4cm、11歳（小学校6年）で6.8cm、14歳（中学校3年）で8.0cm、17歳（高等学校3年）で4.0cm、女子では5歳で2.4cm、11歳で6.2cm、14歳で3.7cm、17歳で3.0cm高くなっている。

図4 平均身長推移(昭和40年度～平成27年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和60年度調査値）との比較では、男子の5歳および17歳、女子の5歳、6歳、13歳、14歳、16歳および17歳で子世代が親世代を下回っている。それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の身長を上回っている。

図5 親子世代間の身長差(平成27年度調査値－昭和60年度調査値)



イ 体 重

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表4のとおりである。

表4 男女別、年齢別 体重の推移

(単位：kg)

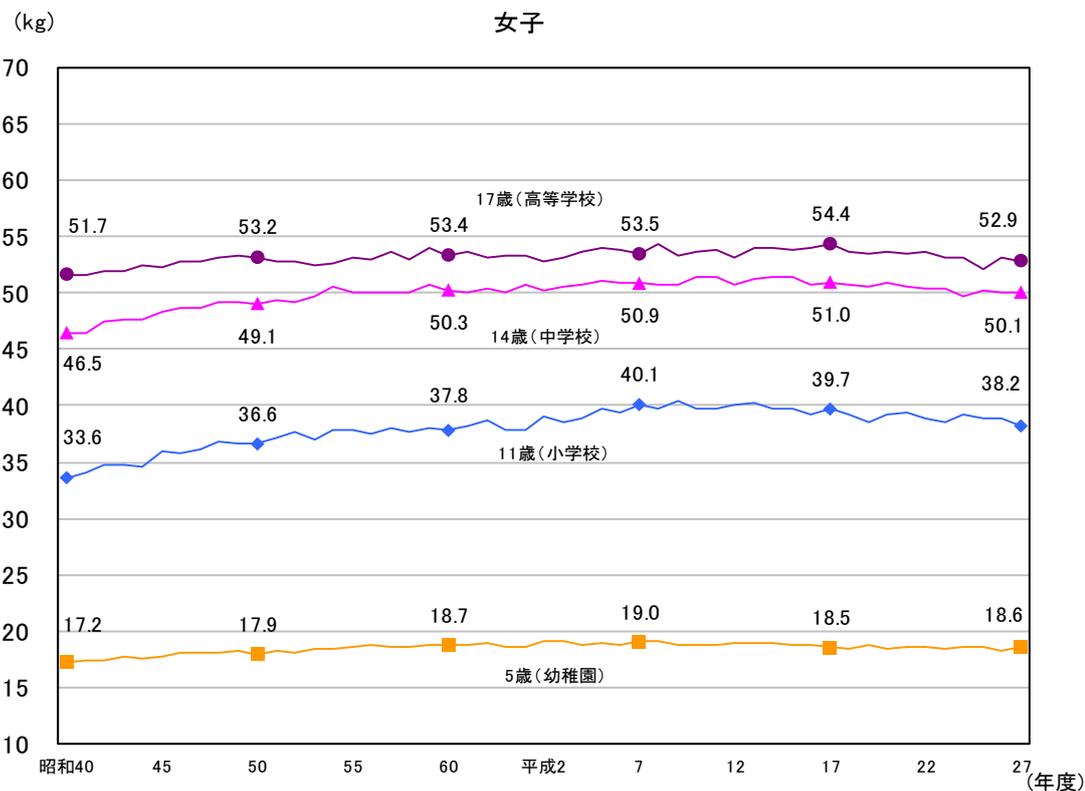
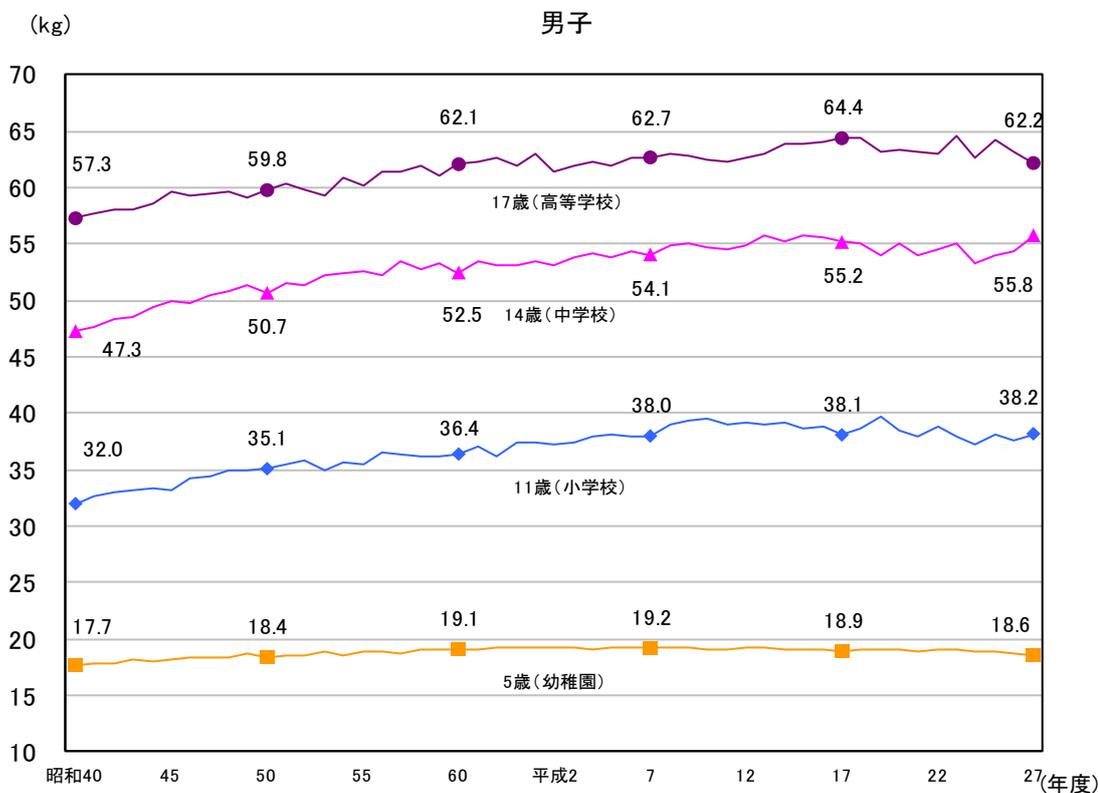
区 分			年 度							体 重 差			
			50年前	30年前	10年前	平成	平成	平成	平成	平成	現在と	現在と	現在と
			昭和	昭和	平成	平成	平成	平成	平成	50年前	30年前	10年前	
			40年度	60年度	17年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	D-A	D-B	D-C
			A	B	C					D			
男 子	幼稚園	5歳	17.7	19.1	18.9	19.1	18.9	18.9	18.7	18.6	0.9	▲ 0.5	▲ 0.3
		6歳	19.4	21.2	21.5	21.4	21.5	21.4	21.2	21.3	1.9	0.1	▲ 0.2
		7歳	21.7	23.7	24.2	24.0	23.8	23.9	24.1	24.0	2.3	0.3	▲ 0.2
		8歳	24.0	26.7	27.7	27.5	27.0	27.0	27.2	27.0	3.0	0.3	▲ 0.7
		9歳	26.3	29.4	31.0	30.5	30.5	30.5	30.4	30.1	3.8	0.7	▲ 0.9
		10歳	29.1	32.5	34.3	34.0	33.8	34.0	34.2	33.2	4.1	0.7	▲ 1.1
	中学校	11歳	32.0	36.4	38.1	37.9	37.3	38.2	37.6	38.2	6.2	1.8	0.1
		12歳	36.3	41.0	44.5	44.0	43.7	43.4	43.6	43.8	7.5	2.8	▲ 0.7
		13歳	41.8	47.6	49.7	49.5	48.8	49.2	49.1	48.6	6.8	1.0	▲ 1.1
		14歳	47.3	52.5	55.2	55.1	53.3	54.1	54.3	55.8	8.5	3.3	0.6
	高等学校	15歳	52.3	58.6	<u>61.5</u>	58.9	60.5	59.1	59.4	59.1	6.8	0.5	▲ 2.4
		16歳	55.6	60.6	62.5	61.8	62.3	61.2	62.0	60.6	5.0	0.0	▲ 1.9
		17歳	57.3	62.1	64.4	<u>64.6</u>	62.7	64.2	63.2	62.2	4.9	0.1	▲ 2.2
	女 子	幼稚園	5歳	17.2	18.7	18.5	18.3	18.5	18.5	18.2	18.6	1.4	▲ 0.1
6歳			18.9	20.7	21.2	21.0	21.0	20.9	20.9	20.9	2.0	0.2	▲ 0.3
7歳			20.9	22.9	23.4	23.3	23.4	23.3	23.5	23.5	2.6	0.6	0.1
8歳			23.4	26.1	26.9	26.4	26.5	26.3	26.0	26.5	3.1	0.4	▲ 0.4
9歳			26.2	29.2	29.9	29.9	30.2	30.2	29.4	29.7	3.5	0.5	▲ 0.2
10歳			29.3	32.7	34.3	34.3	34.0	33.7	33.8	33.8	4.5	1.1	▲ 0.5
中学校		11歳	33.6	37.8	39.7	38.5	39.3	38.8	38.8	38.2	4.6	0.4	▲ 1.5
		12歳	38.5	43.3	44.4	44.1	43.0	43.0	43.8	42.7	4.2	▲ 0.6	▲ 1.7
		13歳	43.0	47.6	47.9	47.2	47.4	47.6	47.6	47.1	4.1	▲ 0.5	▲ 0.8
		14歳	46.5	50.3	51.0	50.4	49.7	50.3	50.1	50.1	3.6	▲ 0.2	▲ 0.9
高等学校		15歳	48.7	52.5	52.8	51.4	51.6	51.7	51.5	51.6	2.9	▲ 0.9	▲ 1.2
		16歳	50.9	53.7	53.6	53.4	53.3	52.8	52.9	52.4	1.5	▲ 1.3	▲ 1.2
		17歳	51.7	53.4	<u>54.4</u>	53.2	53.2	52.2	53.2	52.9	1.2	▲ 0.5	▲ 1.5

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

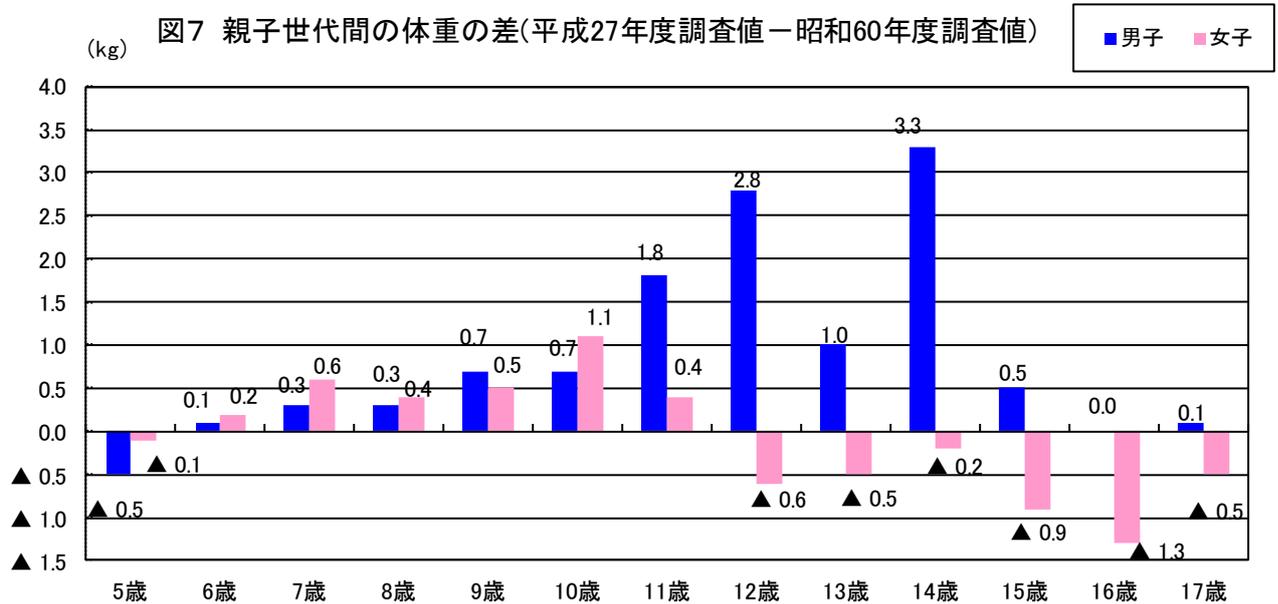
各学校種別の最高学年の体重について、この50年間の推移をみると、男女とも全学年で増加している。最近10年間では、男子は年齢によって傾向が異なるが、女子は減少傾向にある。

平成27年度と昭和40年度を比較すると、男子では5歳（幼稚園）で0.9kg、11歳（小学校6年）で6.2kg、14歳（中学校3年）で8.5kg、17歳（高等学校3年）で4.9kg、女子では5歳で1.4kg、11歳で4.6kg、14歳で3.6kg、17歳で1.2kg重くなっている。

図6 平均体重の推移(昭和40年度～平成27年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和60年度調査値）との比較では、男子の5歳、女子の5歳および12歳から17歳で子世代が親世代を下回っており、男子の16歳は同値となっている。それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の体重を上回っている。



ウ 座 高

過去5年間、10年前、30年前および50年前の福井県平均値は表5のとおりである。

表5 男女別、年齢別 座高の推移

(単位：cm)

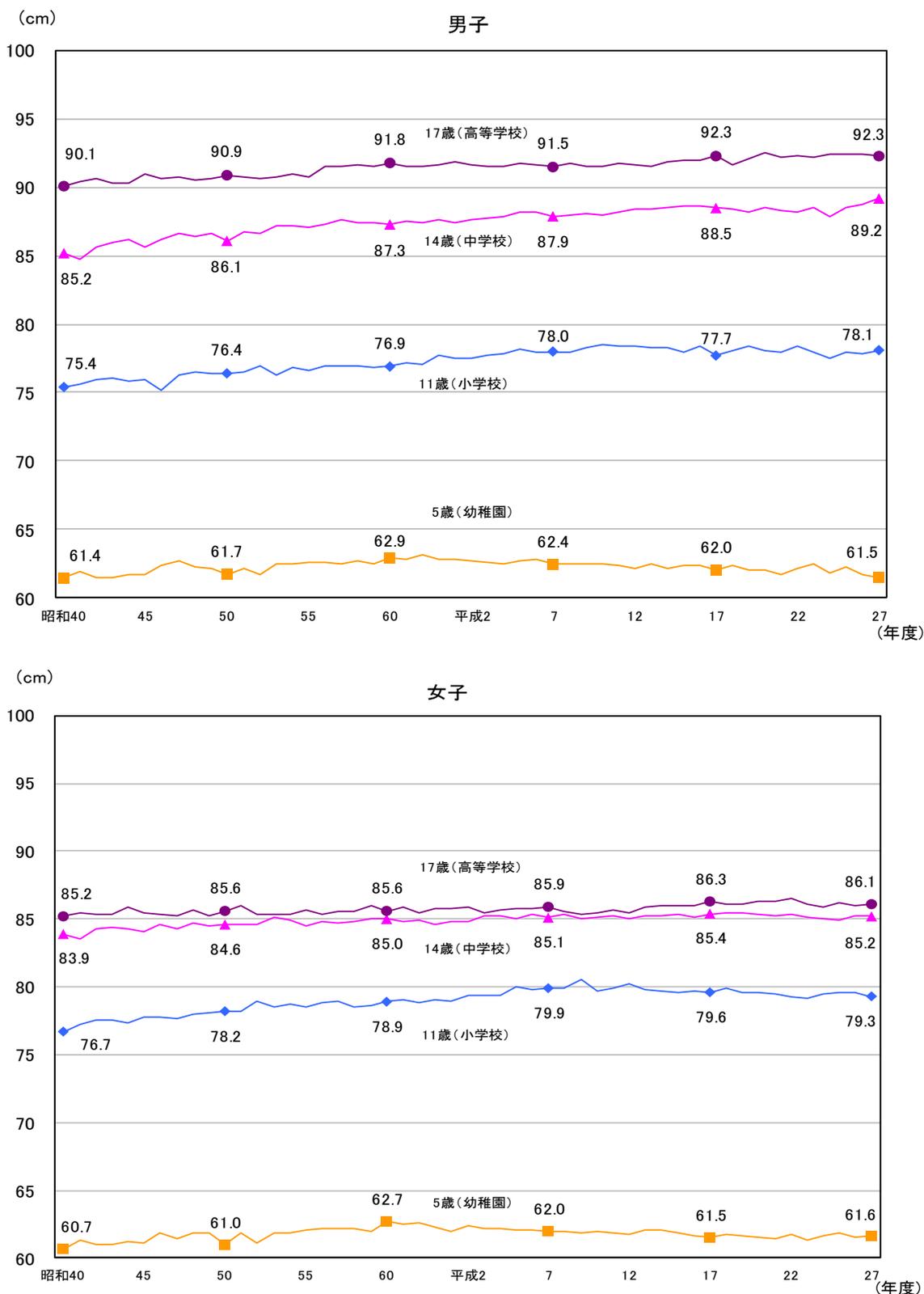
区 分			年 度							座 高 差			
			50年前 昭和 40年度 A	30年前 昭和 60年度 B	10年前 平成 17年度 C	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度 D	現在と 50年前 D-A	現在と 30年前 D-B	現在と 10年前 D-C
男 子	幼稚園	5歳	61.4	62.9	62.0	62.4	61.8	62.2	61.7	61.5	0.1	▲ 1.4	▲ 0.5
		6歳	64.1	65.4	65.1	65.0	65.1	64.9	64.9	65.0	0.9	▲ 0.4	▲ 0.1
	小学校	7歳	66.8	68.0	67.6	68.0	67.8	67.8	67.9	67.7	0.9	▲ 0.3	0.1
		8歳	69.1	70.6	70.7	70.7	70.4	70.6	70.6	70.6	1.5	0.0	▲ 0.1
		9歳	71.2	72.9	72.9	72.7	73.0	73.2	73.0	72.8	1.6	▲ 0.1	▲ 0.1
		10歳	73.3	74.7	75.3	75.2	74.9	75.1	75.5	75.0	1.7	0.3	▲ 0.3
		11歳	75.4	76.9	77.7	78.0	77.5	78.0	77.8	78.1	2.7	1.2	0.4
		12歳	78.5	80.1	81.5	81.7	81.6	81.3	81.2	81.9	3.4	1.8	0.4
	中学校	13歳	81.7	84.3	85.4	85.2	85.1	85.1	85.4	85.1	3.4	0.8	▲ 0.3
		14歳	85.2	87.3	88.5	88.5	87.9	88.5	88.8	<u>89.2</u>	4.0	1.9	0.7
		15歳	88.2	90.1	90.8	90.6	90.5	90.5	<u>91.0</u>	<u>91.0</u>	2.8	0.9	0.2
	高等学校	16歳	89.3	91.1	91.4	91.6	91.6	91.8	91.9	<u>92.1</u>	2.8	1.0	0.7
		17歳	90.1	91.8	92.3	92.2	92.4	92.4	92.4	92.3	2.2	0.5	0.0
	女 子	幼稚園	5歳	60.7	<u>62.7</u>	61.5	61.3	61.6	61.8	61.5	61.6	0.9	▲ 1.1
6歳			63.7	65.2	64.8	64.7	64.8	64.7	64.8	64.8	1.1	▲ 0.4	0.0
小学校		7歳	66.2	67.5	67.4	67.4	67.5	67.6	67.5	67.5	1.3	0.0	0.1
		8歳	68.8	70.3	70.4	70.2	70.1	70.1	69.9	70.2	1.4	▲ 0.1	▲ 0.2
		9歳	71.0	72.8	73.2	73.2	73.1	73.2	72.5	73.0	2.0	0.2	▲ 0.2
		10歳	73.7	75.4	76.3	76.4	76.0	76.0	75.8	75.8	2.1	0.4	▲ 0.5
		11歳	76.7	78.9	79.6	79.2	79.5	79.6	79.6	79.3	2.6	0.4	▲ 0.3
		12歳	80.2	82.2	82.4	82.4	82.1	81.9	82.7	82.1	1.9	▲ 0.1	▲ 0.3
中学校		13歳	82.5	84.1	84.2	84.3	<u>84.5</u>	84.1	84.2	84.2	1.7	0.1	0.0
		14歳	83.9	85.0	85.4	85.1	85.0	84.9	85.2	85.2	1.3	0.2	▲ 0.2
		15歳	84.7	85.5	85.8	85.7	86.0	85.6	85.6	86.0	1.3	0.5	0.2
高等学校		16歳	85.2	85.9	85.9	85.7	85.9	85.7	86.0	85.9	0.7	0.0	0.0
		17歳	85.2	85.6	86.3	86.1	85.9	86.2	86.0	86.1	0.9	0.5	▲ 0.2

(注) 数値の下線は、昭和23年の調査実施以来の最高値であることを示す。

各学校種別の最高学年の座高について、この50年間の推移をみると、男女とも全学年で伸びている。最近10年間では、男子は年齢によって傾向が異なるが、女子は横ばい傾向にある。

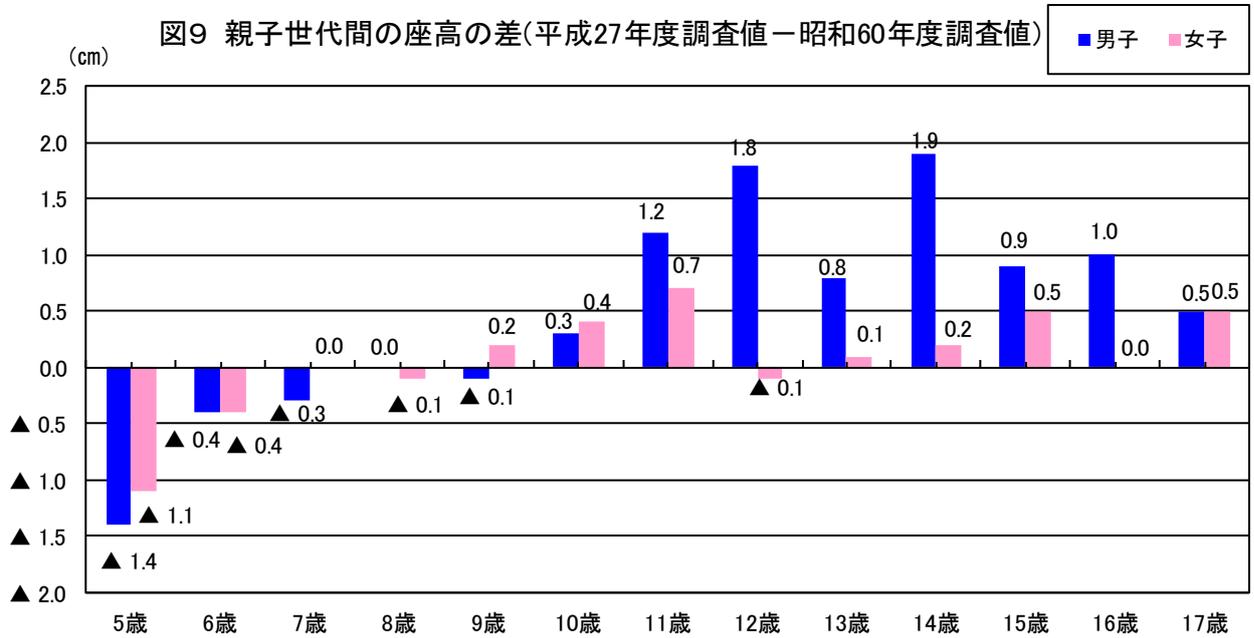
平成27年度と昭和40年度を比較すると、男子では5歳（幼稚園）で0.1cm、11歳（小学校6年）で2.7cm、14歳（中学校3年）で4.0cm、17歳（高等学校3年）で2.2cm、女子では5歳で0.9cm、11歳で2.4cm、14歳で1.3cm、17歳で0.9cm高くなっている。

図8 平均座高の推移(昭和40年度～平成27年度)



親の世代（30年前の同じ年齢の者＝昭和60年度調査値）との比較では、男子の5歳から7歳、9歳、女子の5歳、6歳、8歳および12歳で子世代が親世代を下回っており、男子の8歳、女子の7歳および16歳では同値となっている。

それ以外は男女ともすべての年齢で子世代が親世代の座高を上回っている。



(3) 全国平均値との比較

ア 身長

全国との比較では、男女ともにほとんどの年齢で全国平均値を上回っているが、男子では5歳、7歳、10歳および13歳、女子では12歳において全国平均値を下回る結果となった。

全国における順位は、男子では、16歳で全国1位、14歳で全国2位、15歳で全国3位、8歳で全国9位、女子では15歳で全国1位、6歳および14歳で全国8位、9歳および13歳で全国9位となっている。

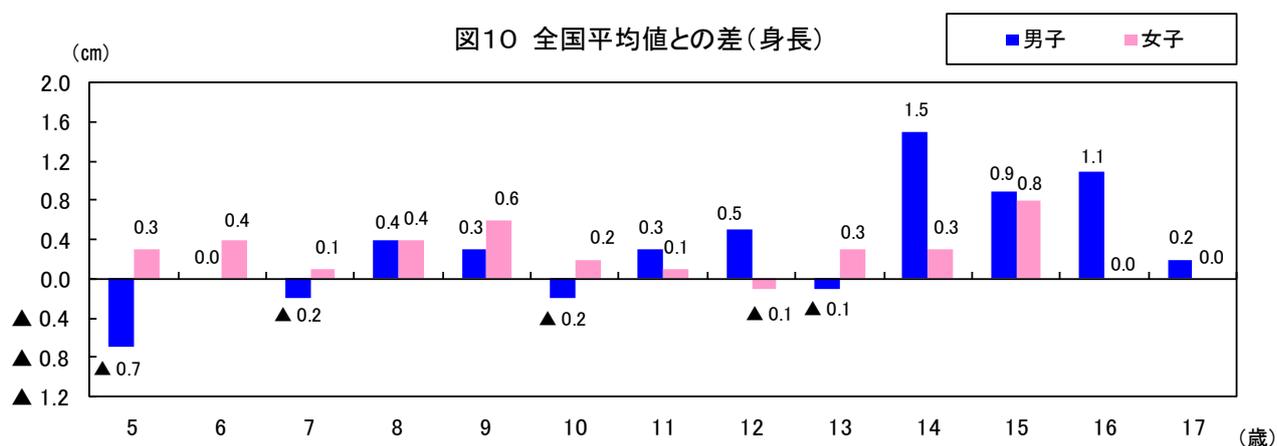


表6 本県の順位(身長)

(単位:cm、位)

区分		平成27年度							過去の順位	
		全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		26年度	25年度
男 子	5歳	110.4	109.7	41	111.8	秋田県	109.1	沖縄県	33	5
	6歳	116.5	116.5	19	117.6	秋田県	115.3	沖縄県	19	21
	7歳	122.5	122.3	23	124.1	秋田県	121.2	沖縄県	7	12
	8歳	128.1	128.5	9	129.4	秋田県	127.1	山口県	6	11
	9歳	133.5	133.8	10	135.0	秋田県	132.3	沖縄県	5	2
	10歳	138.9	138.7	23	140.7	青森県	137.6	鹿児島県	3	26
	11歳	145.2	145.5	13	146.9	青森県	143.7	鹿児島県	28	13
	12歳	152.6	153.1	10	154.7	秋田県	151.3	島根県	29	20
	13歳	159.8	159.7	22	161.8	秋田県	158.6	鹿児島県	9	9
	14歳	165.1	166.6	2	167.0	秋田県	164.1	山口県	7	10
	15歳	168.3	169.2	3	169.7	秋田県	166.7	鹿児島県	6	14
	16歳	169.8	170.9	1	170.9	秋田県、福井県	168.0	沖縄県	3	13
	17歳	170.7	170.9	17	172.0	秋田県	169.2	沖縄県	4	16
女 子	5歳	109.4	109.7	10	110.7	秋田県	108.6	島根県、高知県、 沖縄県	11	22
	6歳	115.5	115.9	8	117.0	青森県	114.7	山口県、鹿児島県	12	20
	7歳	121.5	121.6	17	122.8	青森県	120.3	鹿児島県	8	9
	8歳	127.3	127.7	10	129.0	秋田県	126.3	大分県	23	12
	9歳	133.4	134.0	9	135.1	秋田県	132.5	山口県	32	9
	10歳	140.1	140.3	14	142.1	秋田県	139.0	愛媛県	19	7
	11歳	146.7	146.8	21	148.6	青森県	146.0	山口県、愛媛県	18	7
	12歳	151.8	151.7	19	152.9	秋田県	151.0	高知県	4	30
	13歳	154.9	155.2	9	155.8	神奈川県	153.7	沖縄県	15	8
	14歳	156.5	156.8	8	157.5	秋田県	154.4	沖縄県	9	9
	15歳	157.1	157.9	1	157.9	福井県、滋賀県	154.7	沖縄県	8	4
16歳	157.6	157.6	13	158.2	山形県、京都府	155.6	沖縄県	15	17	
17歳	157.9	157.9	18	158.8	青森県	156.0	沖縄県	6	16	

イ 体 重

全国との比較では、男子では、5歳、9歳、10歳、12歳、13歳および17歳の年齢で全国平均を下回っているが、それ以外の年齢は全国平均値と同水準またはそれを上回っている。女子では、10歳から13歳、16歳および17歳で全国平均値を下回っているが、それ以外の年齢は全国平均値と同水準またはそれを上回っている。

全国における順位は、男子の14歳が全国3位となっている。

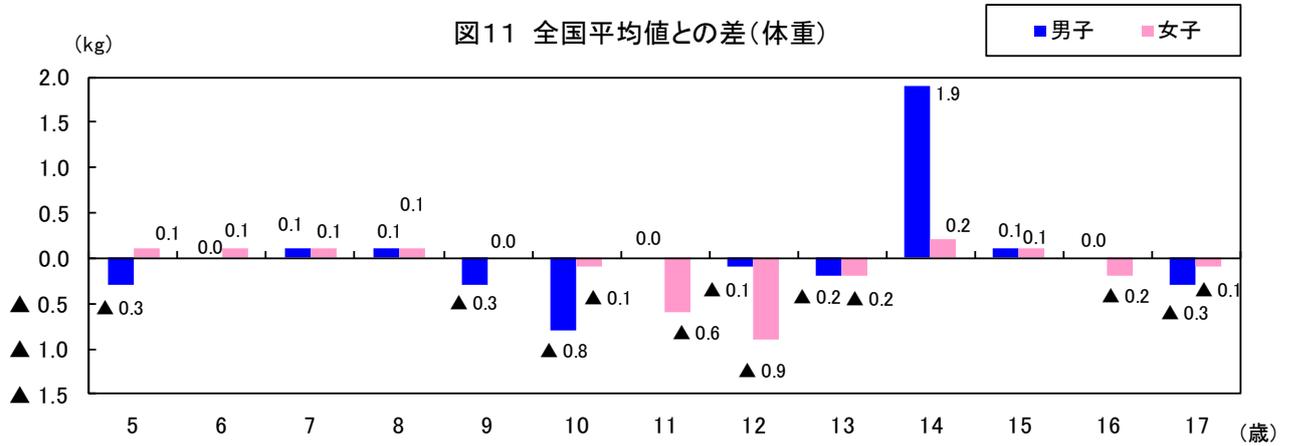


表7 本県の順位(体重)

(単位:kg、位)

区分	平成27年度								過去の順位	
	全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		26年度	25年度	
男子	5歳	18.9	18.6	35	19.5	秋田県	18.4	宮崎県、鹿児島県 沖縄県	32	17
	6歳	21.3	21.3	25	22.0	青森県	20.8	和歌山県、沖縄県	28	21
	7歳	23.9	24.0	19	25.2	秋田県	23.5	長野県、静岡県、 愛知県、兵庫県	14	23
	8歳	26.9	27.0	18	28.7	青森県	26.3	神奈川県、高知県	13	24
	9歳	30.4	30.1	31	32.9	秋田県	29.6	島根県	21	22
	10歳	34.0	33.2	42	36.4	青森県	32.7	鹿児島県	18	28
	11歳	38.2	38.2	22	41.0	青森県	36.3	鹿児島県	38	20
	12歳	43.9	43.8	29	46.4	青森県	42.4	静岡県	31	35
	13歳	48.8	48.6	29	51.5	青森県	47.7	山口県	15	12
	14歳	53.9	55.8	3	56.5	青森県	52.6	山口県	13	20
	15歳	59.0	59.1	23	61.6	秋田県、福島県	57.5	熊本県	17	25
	16歳	60.6	60.6	28	63.5	秋田県	59.4	神奈川県	6	22
	17歳	62.5	62.2	29	65.8	秋田県	61.2	群馬県、愛知県	13	7
女子	5歳	18.5	18.6	11	19.3	宮城県	18.0	島根県	40	19
	6歳	20.8	20.9	20	21.7	青森県	20.4	高知県	16	17
	7歳	23.4	23.5	16	24.5	青森県	22.8	山口県、鹿児島県	17	27
	8歳	26.4	26.5	16	27.6	青森県、秋田県	25.8	静岡県、大分県	39	25
	9歳	29.7	29.7	28	31.4	青森県	28.9	愛知県、山口県	38	17
	10歳	33.9	33.8	25	35.6	青森県、福島県	33.1	愛知県	28	29
	11歳	38.8	38.2	45	41.2	青森県	37.9	神奈川県	31	26
	12歳	43.6	42.7	44	45.3	北海道、秋田県	42.0	滋賀県	21	41
	13歳	47.3	47.1	30	49.4	秋田県	46.1	岡山県	14	14
	14歳	49.9	50.1	23	51.5	青森県、秋田県	49.1	長野県、京都府、 和歌山県	21	14
	15歳	51.5	51.6	23	53.0	秋田県	50.4	奈良県	22	18
	16歳	52.6	52.4	26	54.8	岩手県	50.8	沖縄県	16	16
17歳	53.0	52.9	22	55.0	秋田県	51.6	奈良県	15	45	

ウ 座高

全国との比較では、男子では5歳を除くすべての年齢で全国平均値と同水準またはそれを上回っている。女子では、すべての年齢で全国平均値と同水準またはそれを上回っている。

全国における順位は、男子の16歳が全国1位、14歳および15歳が全国2位、8歳が全国4位、11歳および12歳が全国6位、17歳が全国10位、女子の15歳が全国1位、8歳が全国3位、7歳および13歳が全国4位、7歳、14歳および16歳が全国7位、5歳および9歳が全国8位、17歳が全国9位となっている。

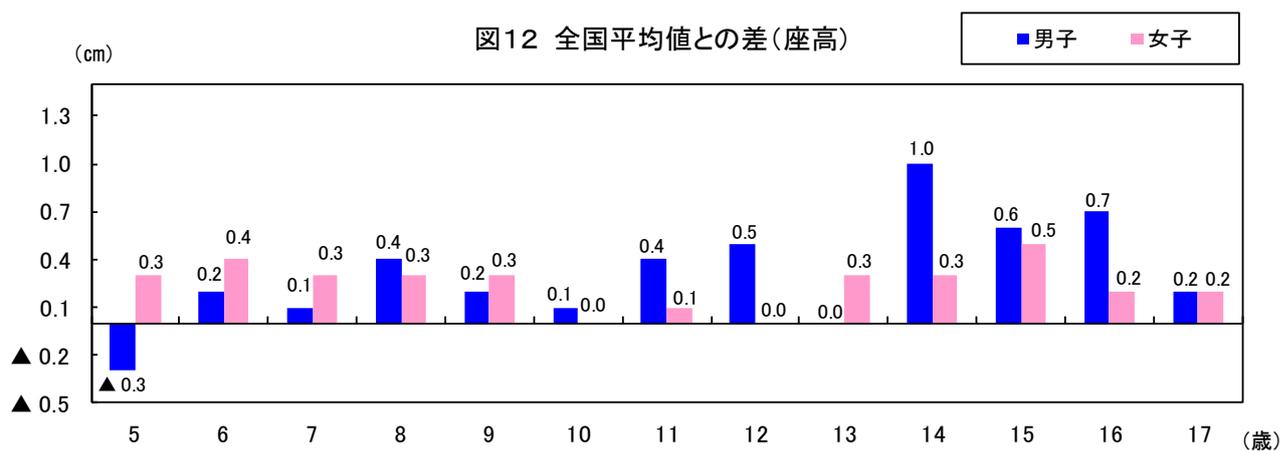


表8 本県の順位(座高)

(単位:cm、位)

区分		平成27年度							過去の順位	
		全国平均	県平均	順位	最高値		最低値		26年度	25年度
男 子	5歳	61.8	61.5	41	62.6	秋田県	60.9	宮崎県	28	7
	6歳	64.8	65.0	10	65.3	青森県、岩手県	64.4	大分県、鹿児島県	10	17
	7歳	67.6	67.7	16	68.5	秋田県	67.0	沖縄県	3	10
	8歳	70.2	70.6	4	70.8	秋田県	69.7	高知県	3	3
	9歳	72.6	72.8	8	73.5	秋田県	71.8	沖縄県	3	3
	10歳	74.9	75.0	17	75.9	青森県	74.4	高知県	2	12
	11歳	77.7	78.1	6	78.7	秋田県	77.0	長野県、鹿児島県	16	8
	12歳	81.4	81.9	6	82.6	秋田県	80.8	山口県	26	15
	13歳	85.1	85.1	19	86.4	秋田県	84.4	山口県	7	11
	14歳	88.2	89.2	2	89.5	秋田県	87.5	宮崎県	4	11
	15歳	90.4	91.0	2	91.2	秋田県	89.4	鹿児島県	4	19
	16歳	91.4	92.1	1	92.1	福井県、鳥取県	90.8	香川県、熊本県	6	5
	17歳	92.1	92.3	10	92.6	秋田県、石川県	91.4	栃木県	4	2
女 子	5歳	61.3	61.6	8	62.2	宮城県、秋田県	60.6	宮崎県	8	7
	6歳	64.4	64.8	4	65.1	青森県	63.9	大分県、宮崎県、 鹿児島県	3	6
	7歳	67.2	67.5	7	68.0	青森県	66.4	鹿児島県	4	3
	8歳	69.9	70.2	3	70.8	秋田県	69.4	静岡県、大分県	17	9
	9歳	72.7	73.0	8	73.7	秋田県	72.2	長野県、山口県	33	4
	10歳	75.8	75.8	21	76.8	秋田県	75.3	愛媛県	20	9
	11歳	79.2	79.3	20	80.3	青森県	78.7	神奈川県	9	8
	12歳	82.1	82.1	17	83.1	秋田県	81.7	愛媛県、大分県	4	34
	13歳	83.9	84.2	4	84.6	宮城県、秋田県	83.3	大分県	3	7
	14歳	84.9	85.2	7	85.8	秋田県	84.2	沖縄県	8	22
	15歳	85.5	86.0	1	86.0	福井県	84.5	沖縄県	8	11
	16歳	85.7	85.9	7	86.1	青森県、宮城県	84.8	沖縄県	8	22
	17歳	85.9	86.1	9	86.5	京都府	85.1	沖縄県	9	7

2 健康状態調査

(1) 疾病・異常等の状況

平成27年度の幼稚園、小学校、中学校および高等学校における児童等の疾病・異常等の状況は表9のとおりである。

表9 健康状態調査結果表

(単位:%)

区分		合計				男子				女子				
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
裸眼視力	計(1.0未満)	X	31.3	58.7	70.3	X	27.9	56.7	70.1	X	34.9	60.7	70.6	
	1.0未満~0.7以上	X	9.3	9.7	X	X	8.6	9.7	X	X	10.0	9.7	X	
	0.7未満~0.3以上	X	12.0	16.6	X	X	10.7	17.7	X	X	13.4	15.3	X	
	0.3未満	X	10.0	32.4	X	X	8.6	29.3	X	X	11.4	35.7	X	
眼の疾病・異常		0.2	1.6	0.6	1.4	0.4	1.8	0.7	1.6	-	1.3	0.6	1.1	
難聴		...	0.3	0.2	0.3	...	0.3	0.3	0.3	...	0.3	0.1	0.2	
耳鼻咽喉頭	耳疾患	1.7	1.7	1.3	0.5	1.6	1.7	1.5	0.4	1.7	1.7	1.0	0.6	
	鼻・副鼻腔疾患	2.0	3.6	4.2	3.6	3.8	4.5	4.9	4.4	-	2.7	3.4	2.8	
	口腔咽喉頭疾患・異常	1.5	0.7	1.0	0.9	1.3	0.7	1.2	0.8	1.8	0.7	0.8	0.9	
歯・口腔	むし歯	計	X	59.7	52.6	65.8	X	61.2	50.9	64.8	X	58.1	54.3	66.9
		処置完了者	X	28.1	29.1	37.5	X	28.8	27.3	34.4	X	27.3	31.0	40.6
		未処置歯のある者	X	31.6	23.4	28.3	X	32.4	23.6	30.4	X	30.8	23.3	26.2
	歯列・咬合		2.5	4.4	2.8	4.7	3.1	3.9	2.5	3.2	1.8	5.0	3.1	6.2
	顎関節		-	0.0	0.1	0.1	-	0.0	0.1	0.0	-	0.0	0.1	0.2
	歯垢の状態		0.1	3.2	2.8	4.3	0.1	3.6	3.5	5.0	-	2.7	2.2	3.5
	歯肉の状態		0.1	2.2	2.5	4.3	0.1	2.5	3.1	5.5	-	1.8	1.9	3.2
	その他の疾病・異常		1.5	7.4	4.9	2.5	2.1	7.4	4.8	2.6	0.8	7.5	4.9	2.4
永久歯の1人当り (平均むし歯数)	計(本)	1.4	1.3	1.5	...	
	喪失歯数(本)	0.0	0.0	0.0	...	
	計(本)	1.4	1.3	1.5	...	
	処置歯数(本)	0.9	0.8	0.9	...	
	未処置歯数(本)	0.5	0.4	0.5	...	
栄養状態		-	1.2	1.0	1.1	-	1.6	1.2	1.5	-	0.7	0.8	0.6	
せき柱・胸郭		-	0.1	0.2	0.4	-	0.1	0.2	0.5	-	0.1	0.3	0.4	
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	5.7	3.5	1.8	1.5	6.0	3.9	1.9	1.7	5.3	3.0	1.6	1.3	
	その他の皮膚疾患	0.3	0.5	0.2	0.2	0.5	0.7	0.3	0.2	-	0.4	0.2	0.2	
結核		...	0.0	0.0	-	...	0.0	0.0	-	...	-	-	-	
結核の精密検査の対象者		...	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	...	
心臓の疾病・異常		0.1	0.6	0.8	0.7	-	0.5	0.9	0.7	0.2	0.8	0.7	0.7	
心電図異常		...	2.2	1.7	1.2	...	2.3	2.0	1.2	...	2.2	1.4	1.1	
たんぱく検出の者		0.2	0.4	2.3	2.4	-	0.4	2.9	3.1	0.4	0.4	1.7	1.7	
尿糖検出の者		...	0.0	0.1	0.2	...	0.0	0.1	0.2	...	0.0	0.1	0.2	
寄生虫卵保有者		-	0.0	-	0.0	-	0.0	
その他の異常	ぜん息	1.8	2.0	1.0	1.7	2.8	2.4	1.2	2.0	0.7	1.6	0.8	1.5	
	腎臓疾患	-	0.1	0.1	0.2	-	0.2	0.1	0.2	-	0.0	0.2	0.2	
	言語障害	-	0.3	0.1	0.0	-	0.4	0.1	0.0	-	0.1	0.1	0.0	
	その他の疾病・異常	0.5	2.5	4.5	2.2	0.9	2.7	4.7	1.9	-	2.2	4.3	2.5	

(注)1 この表は健康診断受検者のうち、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者)の占める割合を示したものである。

2 小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳が一致しない場合がある。また、表中の符号については、P2下の囲みを参照のこと。

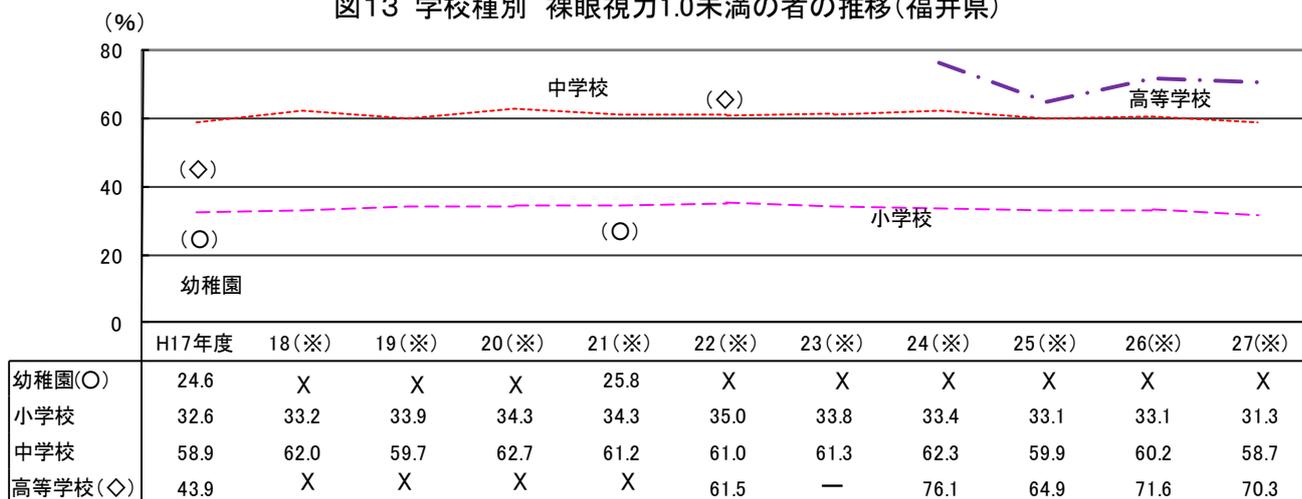
(2) 主な疾病・異常等の推移

ア 裸眼視力 1.0 未満の者

裸眼視力 1.0 未満の者の割合は、小学校で 31.3%、中学校で 58.7%、高等学校で 70.3%となっており、小学校、中学校および高等学校で前年度より減少している。

ここ 10 年間（平成 17 年度以降）の推移をみると、小学校および中学校はほぼ横ばいで推移している。

図13 学校種別 裸眼視力1.0未満の者の推移(福井県)



※幼稚園のH18～20およびH22～27、高等学校のH18～21は未公表。高等学校のH23は調査対象となる受検者がいないため該当者なし。

全国平均と比較すると、平成 17 年度（10 年前）は幼稚園、小学校および中学校で、平成 27 年度は小学校、中学校および高等学校で全国平均値を上回っている。小学校および中学校では平成 17 年度より差が小さくなっている。

表10 全国平均値との比較(裸眼視力1.0未満の者の割合)

(単位:%)

区分	平成17年度								平成27年度							
	福井県				全国				福井県				全国			
	裸眼視力 1.0 未満 の 者	うち 0.7以上 1.0未満 の 者	うち 0.3以上 0.7未満 の 者	うち 0.3 未満 の 者												
幼稚園	24.6	20.7	3.5	0.5	20.4	15.2	4.7	0.5	X	X	X	X	26.8	19.6	6.6	0.7
小学校	32.6	11.7	12.4	8.5	26.5	10.4	10.3	5.8	31.3	9.3	12.0	10.0	31.0	11.1	11.5	8.3
中学校	58.9	9.8	18.8	30.4	47.8	11.6	16.5	19.7	58.7	9.7	16.6	32.4	54.1	11.7	17.1	25.3
高等学校	43.9	4.5	9.4	30.0	58.4	11.1	16.0	31.3	70.3	X	X	X	63.8	10.7	17.0	36.2

※福井県平成27年度の幼稚園の調査結果および高等学校の内数は未公表。四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

【裸眼視力の取扱いについて】

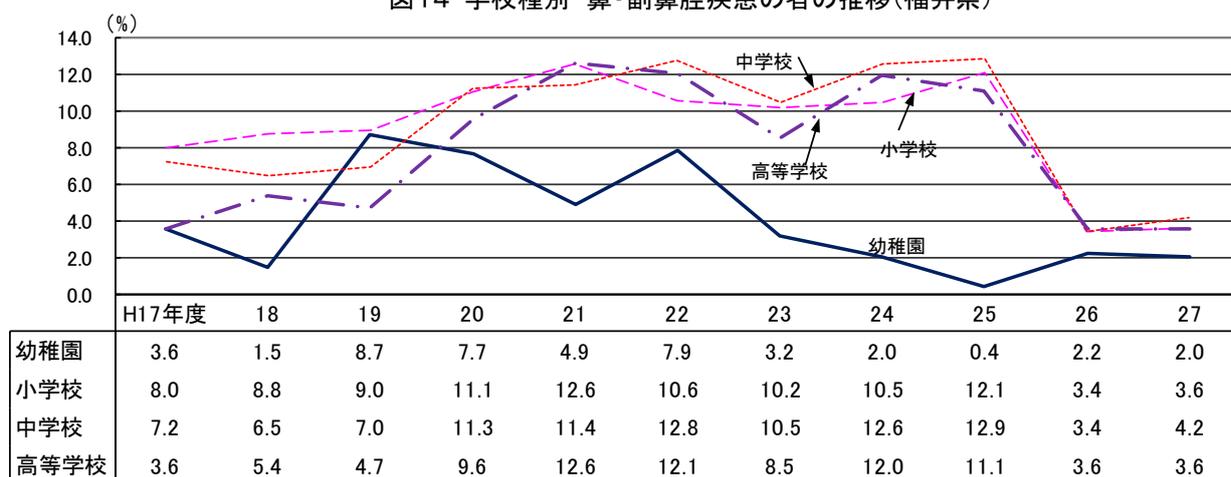
裸眼視力検査では、視力を矯正している者（眼鏡またはコンタクトレンズ装着者）が、裸眼視力検査を省略した場合は、その者の所属する学級の全員を調査対象外とする。

イ 鼻・副鼻腔疾患の者

鼻・副鼻腔疾患（蓄のう症、アレルギー性鼻炎等）の者の割合は、幼稚園で2.0%、小学校で3.6%、中学校で4.2%、高等学校で3.6%となっている。

ここ10年間（平成17年度以降）の推移をみると、平成19年度から平成21年度にかけて増加傾向となり、平成23年度に減少に転じた。小学校及び中学校で平成24年度から平成25年度は再び増加傾向となり、平成26年度は大幅に減少し、今年度はすべての学校種別で前年度と同水準となっている。

図14 学校種別 鼻・副鼻腔疾患の者の推移(福井県)



全国平均と比較すると、平成17年度（10年前）は、小学校、中学校および高等学校で全国平均値を下回っており、平成27年度は、すべての学校種別で全国平均値を下回っている。

表11 全国平均値との比較(鼻・副鼻腔疾患の者の割合)

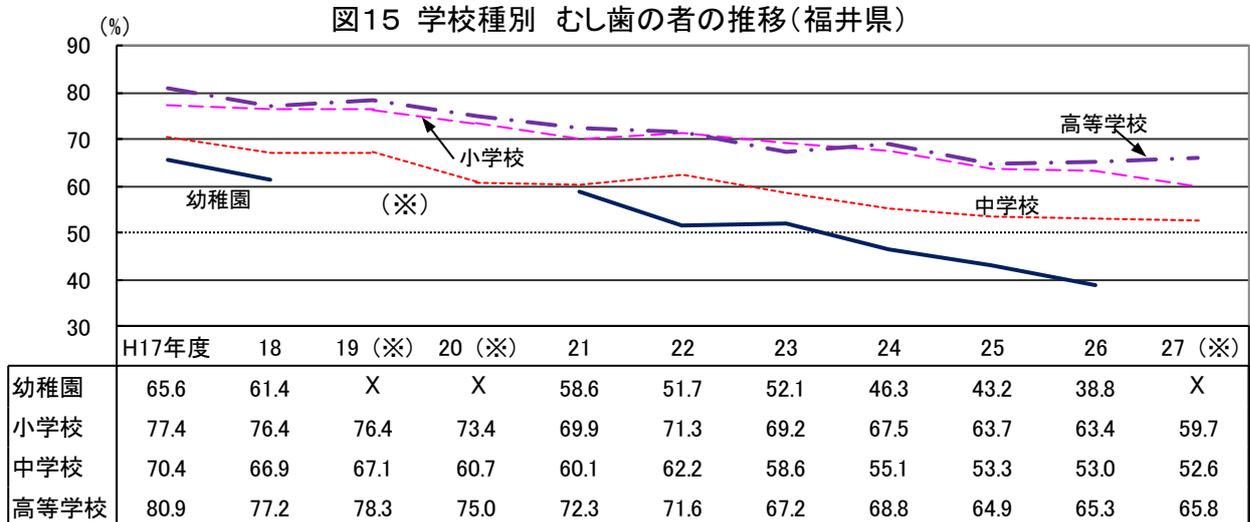
(単位: %)

区 分	平成17年度		平成27年度	
	福井県	全国	福井県	全国
幼稚園	3.6	3.2	2.0	3.6
小学校	8.0	11.2	3.6	11.9
中学校	7.2	10.6	4.2	10.6
高等学校	3.6	8.1	3.6	7.3

ウ むし歯（う歯）の者

むし歯の者の割合（処置完了者を含む）は、小学校で59.7%、中学校で52.6%、高等学校で65.8%となっている。小学校および中学校で前年度より減少しているが、高等学校で前年度より増加している。

ここ10年間（平成17年度以降）の推移をみると、小学校および中学校で減少傾向にある。



※幼稚園のH19.20.27は未公表。

全国平均と比較すると、平成17年度（10年前）および平成27年度ともに、小学校、中学校および高等学校で全国平均値を上回っており、中学校および高等学校で差が大きくなっている。

表12 全国平均値との比較(むし歯の者の割合)

(単位:%)

区分	平成17年度						平成27年度					
	福井県			全国			福井県			全国		
	計	者処置完了の	あ未る処置者の	計	者処置完了の	あ未る処置者の	計	者処置完了の	あ未る処置者の	計	者処置完了の	あ未る処置者の
幼稚園	65.6	26.0	39.6	54.4	21.3	33.1	X	X	X	36.2	15.1	21.1
小学校	77.4	34.9	42.5	68.2	32.8	35.4	59.7	28.1	31.6	50.8	25.8	25.0
中学校	70.4	37.1	33.3	62.7	34.7	28.0	52.6	29.1	23.4	40.5	22.4	18.1
高等学校	80.9	46.7	34.2	72.8	42.5	30.2	65.8	37.5	28.3	52.5	29.9	22.6

※福井県平成27年度の幼稚園の調査結果は未公表。
四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある。

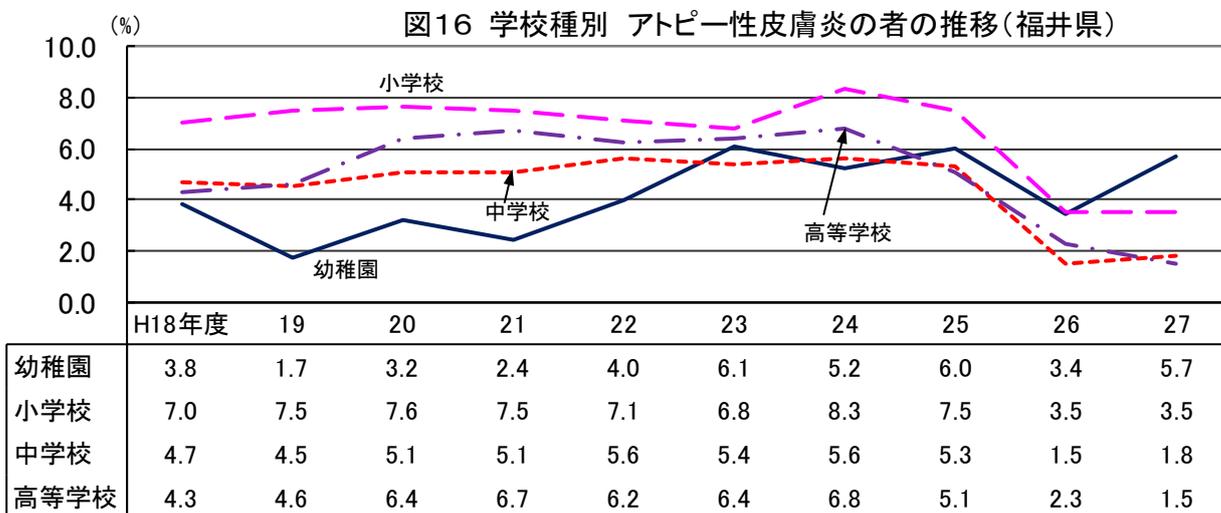
表13 永久歯の一人当たり平均むし歯（う歯）本数の推移(12歳のみ調査)

(単位:本)

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
福井県	1.7	1.6	1.5	1.4	1.4
全国	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9

エ アトピー性皮膚炎の者（平成 18 年度調査から集計対象）

アトピー性皮膚炎の者の割合は、幼稚園で5.7%、小学校で3.5%、中学校で1.8%、高等学校で1.5%となっている。小学校、中学校および高等学校で前年度と同水準となっているが、幼稚園で前年度より増加している。



全国平均と比較すると、平成 22 年度（5 年前）は、すべての学校種別で全国平均値を上回っており、平成 27 年度は、幼稚園で全国平均値を上回っているが、中学校および高等学校では全国平均値を下回っている。

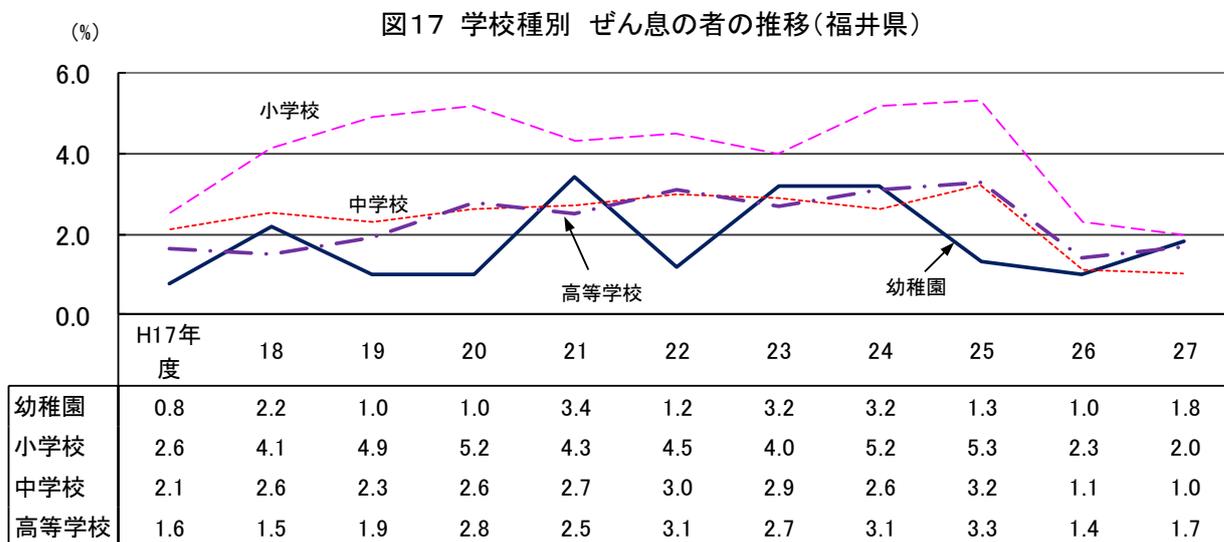
表14 全国平均値との比較(アトピー性皮膚炎の者の割合)

(単位: %)

区 分	平成22年度		平成27年度	
	福井県	全国	福井県	全国
幼稚園	4.0	3.3	5.7	2.5
小学校	7.1	3.4	3.5	3.5
中学校	5.6	2.6	1.8	2.7
高等学校	6.2	2.2	1.5	2.1

オ ぜん息の者

ぜん息の者の割合は、幼稚園で1.8%、小学校で2.0%、中学校で1.0%、高等学校で1.7%となっている。小学校および中学校で前年度より減少しているが、幼稚園および高等学校で前年度より増加している。



全国平均と比較すると、平成17年度(10年前)、平成27年度ともにすべての学校種別で全国平均値を下回っている。

表15 全国平均値との比較(ぜん息の者の割合)

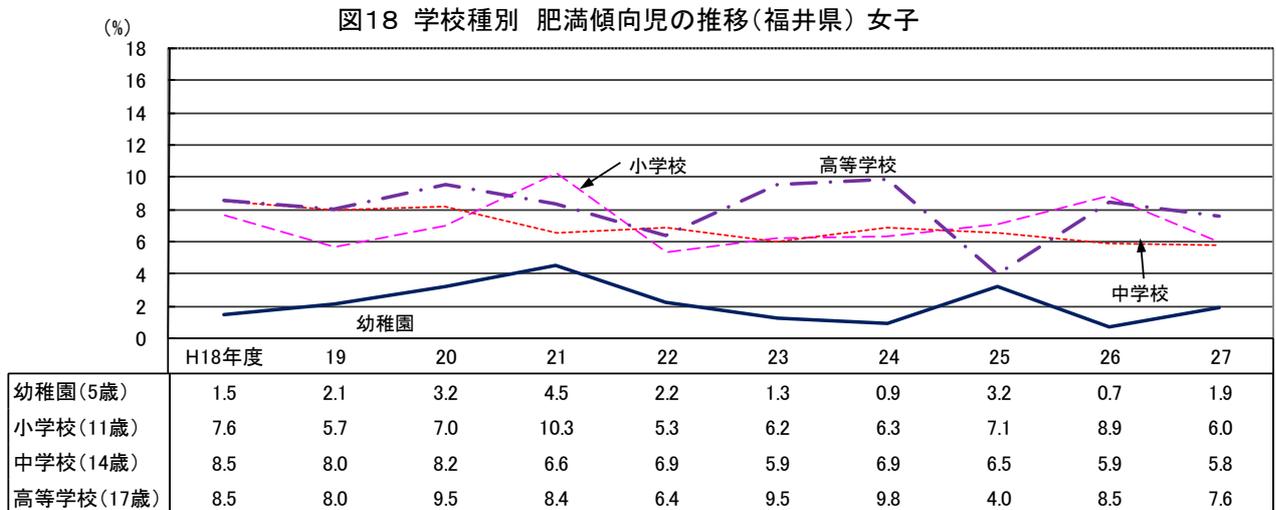
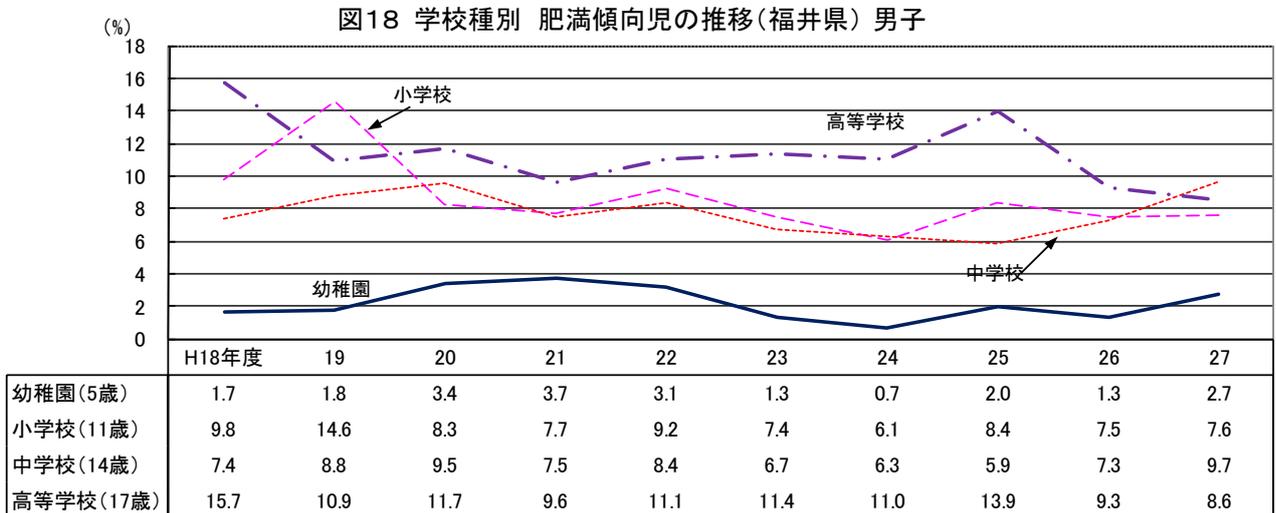
(単位: %)

区 分	平成17年度		平成27年度	
	福井県	全国	福井県	全国
幼稚園	0.8	1.6	1.8	2.1
小学校	2.6	3.3	2.0	4.0
中学校	2.1	2.7	1.0	3.0
高等学校	1.6	1.7	1.7	1.9

3 肥満傾向児および痩身傾向児の出現率

(1) 肥満傾向児

肥満傾向児の出現率は、現在の算出方法となった平成18年度以降、男女とも年齢が上がるにつれ高くなる傾向があり、ほぼ横ばいで推移している。



男子は14歳および15歳で9.7%と最も高くなり、女子は17歳で7.6%と最も高くなっている。
 全国との比較では、男女ともほとんどの年齢で全国平均値を下回っている。

図19 肥満傾向児の出現率(全国平均値との比較)

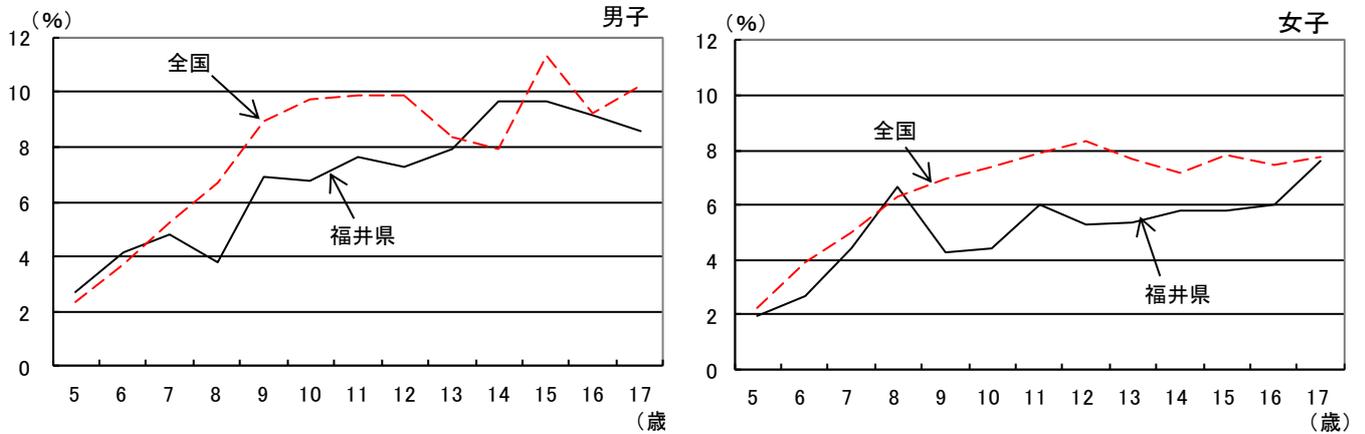


表16 全国平均値との比較(肥満傾向児の出現率)

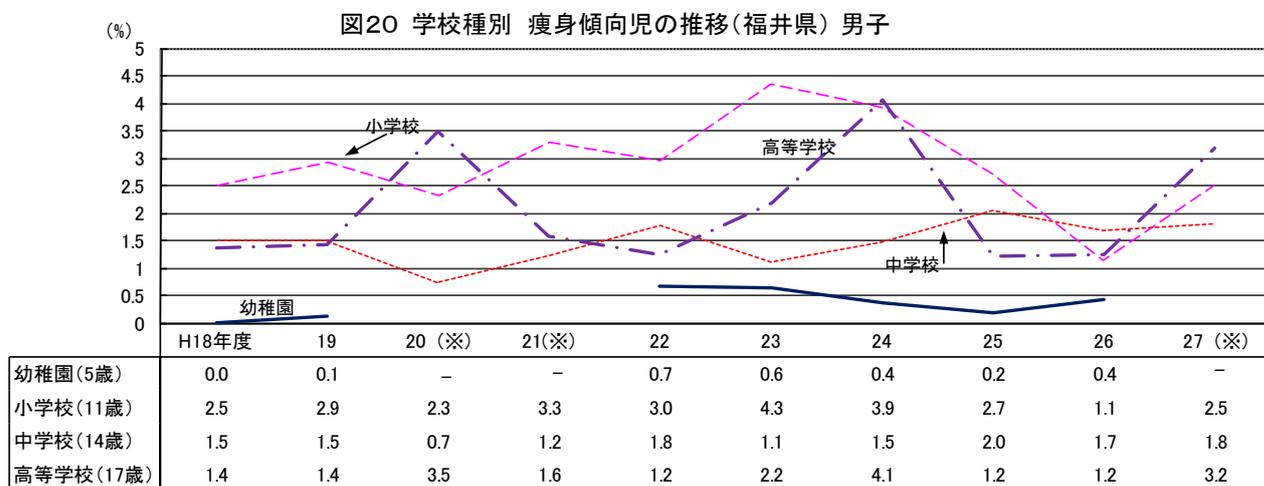
(単位%)

区分	年齢	男子			女子		
		福井県 a	全国 b	差 (a-b)	福井県 a	全国 b	差 (a-b)
幼稚園	5歳	2.7	2.3	0.4	1.9	2.2	▲ 0.3
	6歳	4.1	3.7	0.4	2.7	3.9	▲ 1.2
小学校	7歳	4.8	5.2	▲ 0.4	4.4	5.0	▲ 0.6
	8歳	3.8	6.7	▲ 2.9	6.7	6.3	0.4
	9歳	6.9	8.9	▲ 2.0	4.3	7.0	▲ 2.7
	10歳	6.8	9.8	▲ 3.0	4.5	7.4	▲ 2.9
中学校	11歳	7.6	9.9	▲ 2.3	6.0	7.9	▲ 1.9
	12歳	7.3	9.9	▲ 2.6	5.3	8.4	▲ 3.1
	13歳	7.9	8.4	▲ 0.5	5.4	7.7	▲ 2.3
高等学校	14歳	9.7	7.9	1.8	5.8	7.1	▲ 1.3
	15歳	9.7	11.3	▲ 1.6	5.8	7.8	▲ 2.0
	16歳	9.2	9.2	0.0	6.0	7.5	▲ 1.5
	17歳	8.6	10.2	▲ 1.6	7.6	7.8	▲ 0.2

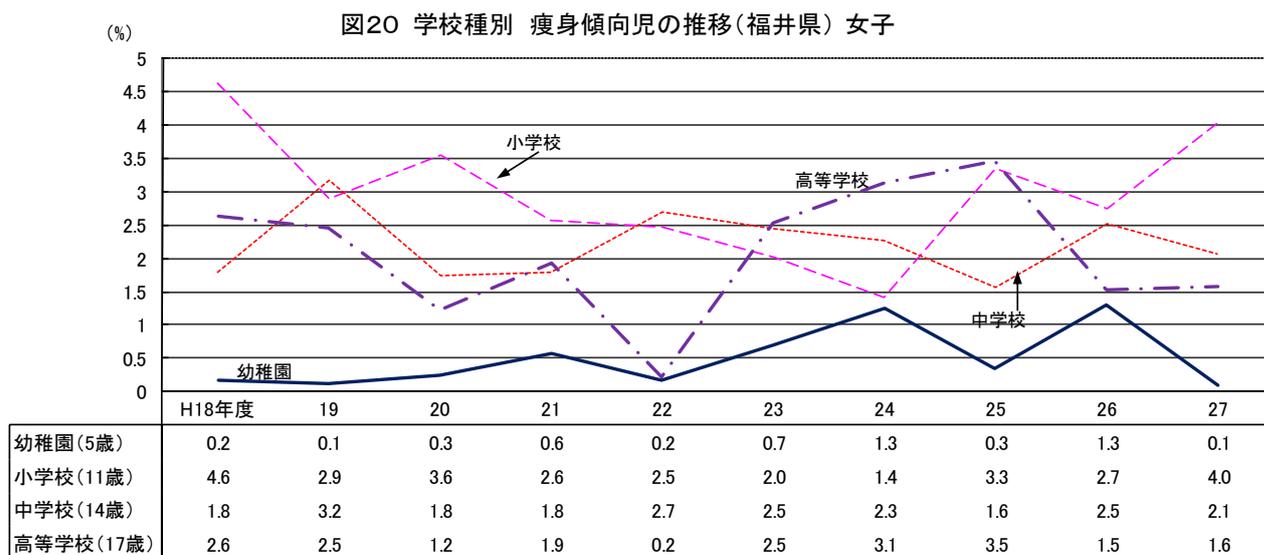
(注)四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

(2) 瘦身傾向児

瘦身傾向児の出現率は、現在の算出方法となった平成18年度以降、男女ともほぼ横ばいで推移している。



※ 幼稚園のH20,21,27は該当者なし。



男子は15歳および17歳が3.2%で最も高く、女子は12歳が4.1%で最も高くなっている。全国との比較では、女子ではほとんどの年齢で全国平均値と同水準またはそれを下回っている。

図19 痩身傾向児の出現率(全国平均値との比較)

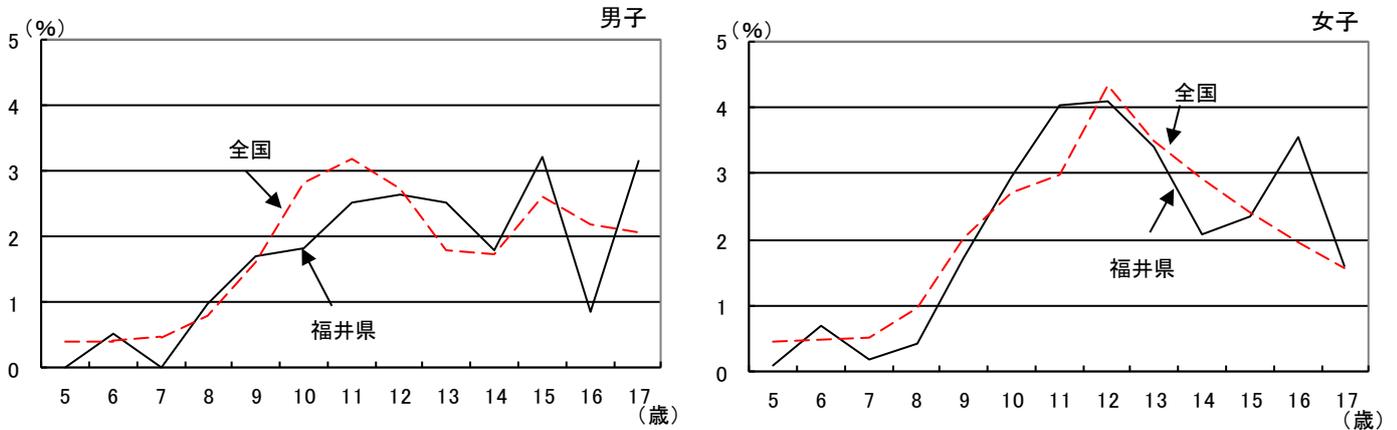


表17 全国平均値との比較(痩身傾向児の出現率)

(単位%)

区分	年齢	男子			女子		
		福井県 a	全国 b	差 (a-b)	福井県 a	全国 b	差 (a-b)
幼稚園	5歳	-	0.4	-	0.1	0.5	▲ 0.4
	6歳	0.5	0.4	0.1	0.7	0.5	0.2
	7歳	-	0.5	-	0.2	0.5	▲ 0.3
小学校	8歳	1.0	0.8	0.2	0.4	1.0	▲ 0.6
	9歳	1.7	1.6	0.1	1.7	2.0	▲ 0.3
	10歳	1.8	2.8	▲ 1.0	3.0	2.7	0.3
	11歳	2.5	3.2	▲ 0.7	4.0	3.0	1.0
中学校	12歳	2.6	2.7	▲ 0.1	4.1	4.3	▲ 0.2
	13歳	2.5	1.8	0.7	3.4	3.5	▲ 0.1
	14歳	1.8	1.7	0.1	2.1	2.9	▲ 0.8
高等学校	15歳	3.2	2.6	0.6	2.4	2.4	0.0
	16歳	0.9	2.2	▲ 1.3	3.6	2.0	1.6
	17歳	3.2	2.1	1.1	1.6	1.6	0.0

(注) 四捨五入の関係で、表中のaとbの差と、差(a-b)の数値が一致しないことがある。

【参考】肥満傾向児・痩身傾向児の算出方法について

以下の式により、性別・年齢別に身長別標準体重から肥満度（過体重度）を求め、肥満度（過体重度）が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児とする。

$$\text{肥満度（過体重度）} = \left[\text{実測体重(kg)} - \text{身長別標準体重(kg)} \right] / \text{身長別標準体重(kg)} \times 100 (\%)$$

※身長別標準体重の求め方
(係数 a, b は表を参照)

$$\text{身長別標準体重} = a \times \text{実測身長 (cm)} - b$$

年齢 \ 係数	男		女	
	a	b	a	b
5	0.386	23.699	0.377	22.750
6	0.461	32.382	0.458	32.079
7	0.513	38.878	0.508	38.367
8	0.592	48.804	0.561	45.006
9	0.687	61.390	0.652	56.992
10	0.752	70.461	0.730	68.091
11	0.782	75.106	0.803	78.846
12	0.783	75.642	0.796	76.934
13	0.815	81.348	0.655	54.234
14	0.832	83.695	0.594	43.264
15	0.766	70.989	0.560	37.002
16	0.656	51.822	0.578	39.057
17	0.672	53.642	0.598	42.339



健康長寿の福井